

MAY 2020

# うんコミュ だより

## 代表ごあいさつ

この度、「うんなんコミュニティ財団」代表理事に選任されました、木次町在住の郷原剛志です。財団設立過程を振り返った上、これから活動について述べさせていただきます。

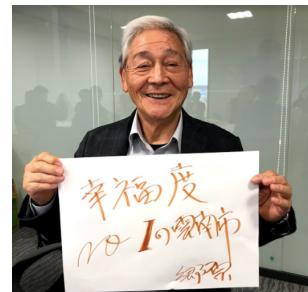
2019年2月にコミュニティ財団について学ぼうと考えた有志数名で「コミュニティ財団について考える夜会」を開催し、市内各地で皆さんと「コミュニティ財団ってなに?」「それって必要?」などの意見交換を重ねた末、確認できた想いとは、地域で呴かれる多様な課題を拾い、課題解決への「想い」を繋ぐ「仕組み」を作ることで「市民が市民を応援し、誰もが幸せに暮らし続けることができる地域」のプラットホーム創造の必要性でした。7月には「うんなん市民財団設立準備委員会」が発足、設立準備委員に呼びかけ人、応援団の皆さまが加わり総勢100人を超える方が、財団設立の必要性を市内各地で説明会などの広報活動に汗をかいて頂きました。12月28日には、木次町チエリヴァホールを会場に「はじまりのはじまりの会」を開催し、2月末までに「設立発起人1,000人、財団設立基金300万円」を募る活動をスタートしました。呼びかけ人、応援者の方々に日夜献身的な努力をして頂いた結果、2月末日には、市民をはじめ雲南市にご縁のある市外の皆様も含め642人の発起人の皆様から352万7千円の志金を頂くことが出来ました。4月2日に一般財団登記申請を行い2週間後、法務局承認により一般財団法人「うんなんコミュニティ財団」が誕生しました。既に、財団では、雲南市でも「新型コロナウィルス感染症」緊急事態宣言の影響が出ている事を重視し、雲南市内の①医療介護福祉関係者の方②子育て世代の方を対象にした、新型コロナアンケート調査を実施し、調査結果を受けて、「新型コロナウィルス対応支援助成基金」を設置しました。（後述詳細②③）

人口約37,000人の雲南市で642人の方々に発起人になっていただき、中山間地で全国初の「うんなんコミュニティ財団」を発足させた雲南市民の皆様を誇りに思います。

一人でも多くの市民の皆様に「うんなんコミュニティ財団」の活動にご参加いただき「支えあい市民が作る市民のための財団」として未来に向かって共に歩み続けることをお誓いし、挨拶とさせていただきます。

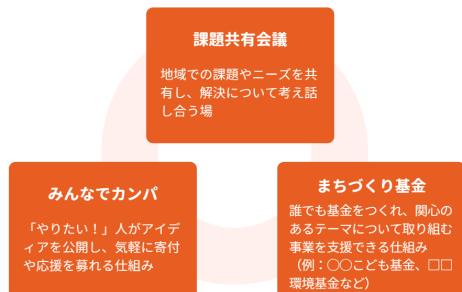
### ■組織

- ・評議員：影山喜文 三瓶裕美 杉原昭見 高岡裕司 森山史朗
- ・理事：青木拓夫 小俣健三郎 小林直子 郷原剛志 杉原雅也 中澤ちひろ 村上尚実 吉岡幸浩
- ・監事：足立尚吾 小川智



## うんなんコミュニティ財団とは？

一般財団法人うんなんコミュニティ財団は、2020年4月に642人の志金352万7千円をもとに設立した市民コミュニティ財団です。私たちは、地域の将来を左右するような大きな課題からより日常的に身近な小さな課題まで、市民同士で支え合いながら、市民の自らの手で自在に解決していく未来を目指しています。誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができ、地域のあらゆる人や企業、団体などが地域での役割を担いあいながら、当事者の意識と存在を大切にした安心で持続可能な地域社会をつくる一助となります。



### 1 みんなでカンパ

「こんなことがあったら、もっと雲南が良くなるかも！」というアイデアを公開し、仲間や資金を募る仕組みです。★4/18に開催しました→詳細①

### 2 課題共有会議

地域での課題やニーズを共有し、協働しながら解決について考え話し合う場を作ります。★会議の準備として、アンケートをとりました→詳細②

### 3 基金の設置・運営

どなたでも基金をつくることができます。関心のあるテーマについて基金をつくり、取り組む事業を支援できる仕組みです。★「新型コロナウイルス対応支援助成基金」を設置しました→詳細③

### 詳細①みんなでカンパ

プラン共有発表会を4/18に開催しました！市内の3名の方が「こういうことがしたい！」というプランを発表してくださり、ご参加の方とアイデア出しなどを行いました。次回は6月7日（日）15:00～16:00開催予定です。プランをお持ちの方は、6月1日（水）までに事務局までお申込みください！お待ちしております。



### <4月>アイデアが紹介されました！

#### ● 振真弓さん

「共有スペース付きテナントビルレッジをつくりたい！」共有スペースに対するアイデアを出し合いました。



#### ● 河西海里さん

「大地の再生を雲南で広めていきたい！」具体的にプランを進めるイメージが持てるよう、次の一步を何すると良いか？などをみんなで話しました。



#### ● 神庭和幸さん

「神楽の情報サイトや神楽体験ができる場を！」すでに情報発信をされているところはあるか？など、神楽の情報に関することを出し合いました。



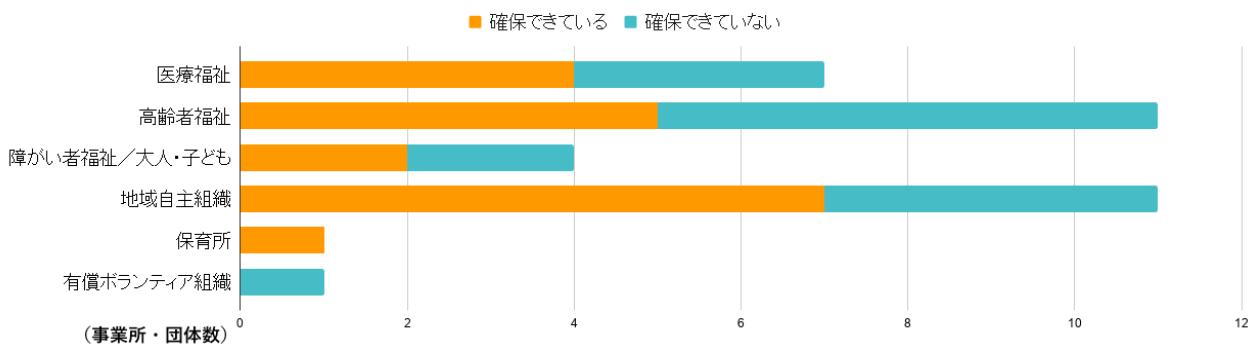
## 詳細②

# 新型コロナウイルスでの影響についてのアンケート調査を実施しました

新型コロナウイルス対策やそれに伴い様々な困りごとが地域にたくさんあると思います。「それが具体的に何だろう?」「私たちにできることは何だろう?」を探るべく、①医療介護福祉関係者の方②子育て世代の方を対象としたアンケート調査を実施させていただきました。簡単にご紹介させていただきます

### ※ アンケート結果（一部抜粋）

#### マスクや消毒液の確保について



上のグラフは、医療福祉等事業者のアンケート結果です。マスクや消毒液の確保には市内でもばらつきがあります。市内の高齢者福祉事業所からは「市内での感染例があれば、対応変更しなくてはなりませんが、マスク・消毒液は十分に確保できていません。」との声がありました。

また、子育て世代の方からは「子どもに障がいがあります。感染症は特に危険です。マスク、除菌などものは優先的に無償配布をしていただけませんでしょうか。」という声も寄せさせていただきました。

#### ●アンケートから見えてきたこと

- ・新型コロナ対策に必要なマスク等の物品の確保にはばらつきがあること
- ★マスクバンクを開始します。4ページ目をご覧ください。
- ・食事面の支援が必要なこと（会社を休まざるを得ないため収入減、給食がない等の理由から）
- ・医療関係者や、雲南省外からの通勤者への差別や、誹謗中傷があること
- ・自傷行為があるなど、心身ともに傷ついている方がいること

♥相談窓口があります。

こころの相談：雲南保健所健康増進課（電話：0854-42-9642）

※予約が必要な場合があります。一度、保健所にお問い合わせください。

総合相談：雲南省社会福祉協議会（電話：0854-45-3933）

\*アンケートを読む座談会を動画配信しました！

5月9日、子育て世代を対象としたアンケートの途中集計結果をもとにfacebookの動画配信で「アンケートを読む座談会」を開催しました。視聴者の方にその場で質問をいただいてお答えしたり、私たちがわからないことを教えていただたりと学びが多い時間でした。



●アンケート結果は5月下旬に公開します。  
詳細はHPをご覧ください。<https://www.unnan-cf.org/>



## 詳細③基金の設置・運営

アンケート調査を受けて、「2020年COVID-19（新型コロナウイルス）対応支援助成基金」を設置しました。

新型コロナウイルスによって、生活上の困難やストレスを抱える子どもや子育て世代、高齢者世帯等へのサポート活動、感染防止に対する活動などを支援します。



### ●ご寄付を募っています

アンケートからも少し見えてきましたが、新型コロナウイルスによって、様々な課題が顕在化されてきました。その課題に取り組む以下のような活動を支援するための寄付を募っています。

#### 【活動支援例】

- ・買い物代行
- ・フードバンク
- ・電話やインターネットを利用した見守りや声かけの活動
- ・電話やインターネットを利用した学習のサポート
- ・新型コロナウイルスに関する差別や誹謗中傷に対する啓発活動
- ・その他、新型コロナウイルスに関する地域の課題に取り組む活動

5~10団体への支援を目指しています。ご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

#### 【振込先】

銀行振込	山陰合同銀行 雲南支店 普通口座番号：4502554 口座名：一般財団法人うんなんコミュニティ財団 ※銀行振込の方は、右QRコードより情報のご登録をお願いいたします。	
オンライン決済	クレカ寄付	現金寄付 事務所までご持参ください。 雲南市木次町木次29番地または36番地

※ゆうちょの振替用紙をご希望の方は事務局までお問い合わせください。

また、課題に取り組む団体も募集しています。

詳細は、HPの募集要項をご覧いただけ、事務局までお問い合わせください。

電話：080-6184-5949 / メール：info@unnan-cf.org

### ●マスク募集！たくさんマスクをお持ちの方、お送りください！

3ページ目のアンケートにもある通り、感染すると重篤になる方や、その方と接する事業者の方々など、マスクが必要な方の手元に無い状況です。

うんなんコミュニティ財団でご寄付を募ってもマスクが流通しておらず、購入も難しいのが現状です。

そこで、「サイズが合わなくて使ってないマスクがある」など、新品の不織布マスクをお持ちの方に、ご寄付をお願いさせていただきました。

1. 新品不織布マスクの寄付先

①障がいを持つ方、難病の方 ②医療職の方、介護職の方に優先して配布をさせていただきます。

2. 新品不織布マスクの送付または持参先

〒699-1332 雲南市木次町木次36一般財団法人うんなんコミュニティ財団

※申し訳ありませんが、送料は寄付者様でご負担ください。ご協力よろしくお願ひいたします。

